



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 三洋工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）山岸 茂
 問合せ先責任者（役職名）取締役財務部長（氏名）園田 崇之 TEL 03-5611-3451
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月3日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,350	△3.4	699	△23.2	806	△21.3	467	△41.1
2024年3月期中間期	13,824	16.8	910	142.4	1,025	104.7	793	162.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 403百万円（△54.5%） 2024年3月期中間期 887百万円（211.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	144.27	—
2024年3月期中間期	236.00	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	28,663	19,980	69.7	6,344.68
2024年3月期	30,922	20,188	65.3	6,144.21

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 19,980百万円 2024年3月期 20,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	65.00	105.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	55.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当45円 記念配当20円

詳細は2024年3月12日発表の「配当予想の修正（創立75周年 記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	32,000	5.0	2,000	△18.5	2,200	△17.6	1,600	△13.8	500.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料9ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	3,520,000株	2024年3月期	3,520,000株
2025年3月期中間期	370,773株	2024年3月期	234,275株
2025年3月期中間期	3,240,226株	2024年3月期中間期	3,361,125株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月～2024年9月)におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用や所得環境が改善に向かい、設備投資も増加傾向にあるなど緩やかな回復基調で推移しています。その一方で、引き続き海外景気及び為替相場の変動や物価上昇による景気の下振れリスクも存在し、また中東地域をめぐる情勢等地政学的リスクも加わり、先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループの関連する建築業界におきましては、新設住宅着工戸数は貸家で一時持ち直しの傾向が見られたものの、他の利用別では減少しており、前年同期比で全体では減少傾向が続いています。民間非住居建築物は事務所、店舗、工場が前年同期比で増加したものの、倉庫が大きく減少したことから全体の着工床面積は減少しています。以上のことから全体的な建設需要はやや低調な動きを示しています。

こうした経営環境の中で当社グループは、2022年度からスタートし、企業価値の向上と持続的な成長企業の実現を目指す中期3ヵ年経営計画の最終年度を迎え、サステナビリティへの取り組み強化と基本経営戦略に基づいた施策を着実に実行することに全力を傾注し、取り組んでまいりました。

具体的には成長戦略商品の販売強化や新製品の投入、設計指定活動の推進や見積もり案件の受注獲得を行い、生産効率の改善とコスト抑制等に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、全体の売上高は13,350百万円(前年同期比3.4%減)となり、利益面におきましては、営業利益699百万円(前年同期比23.2%減)、経常利益806百万円(前年同期比21.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益467百万円(前年同期比41.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

軽量壁天井下地につきましては、新設住宅着工戸数の落ち込みを背景に戸建住宅用製品の売上高が減少したほか、ビルや商業施設においても低調な市場環境の影響を受けたことから、軽量壁天井下地全体の売上高は横ばいとなりました。

また、床システムにつきましては、デッキシステムの受注が低調に推移したものの、OAフロアやマンションなど集合住宅用の遮音二重床製品等の受注が堅調に推移したことから、床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、笠木や外装パネルの受注が伸長しましたが、エキスパンションジョイント・カバーやルーバー製品の受注が落ち込んだことから、アルミ建材全体の売上高はやや減少となりました。

この結果、売上高は10,862百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益523百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社(株式会社三洋工業九州システムほか)につきましては、主力取扱い製品である鋼製床下地材製品や床関連商品を中心に設計指定活動を通じてその拡販に努めてまいりました。

一部地域において厳しい市況のもとで受注量が伸び悩んだことから、システム子会社全体の売上は2,821百万円(前年同期比11.8%減)、セグメント利益は99百万円(前年同期比48.9%減)となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高419百万円(前年同期比25.2%増)、セグメント利益は12百万円(前年同期比178.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産は、主に受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,259百万円減少し28,663百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金、電子記録債務、未払法人税等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,051百万円減少し、8,682百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したものの、配当金の支払、自己株式の取得等があったことにより、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し、純資産合計は19,980百万円となりました。この結果、自己資本比率は69.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末の9,528百万円から387百万円減少し、9,140百万円となりました。各々のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、508百万円の資金収入(前年同期は647百万円の資金収入)となりました。その要因は、仕入債務の減少額1,585百万円、法人税等の支払額714百万円等の資金減少に対し、税金等調整前中間純利益806百万円、売上債権の減少額2,243百万円等の資金増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、268百万円の資金支出(前年同期は56百万円の資金収入)となりました。その要因は、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出317百万円等の資金減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、628百万円の資金支出(前年同期は182百万円の資金支出)となりました。その要因は、配当金の支払額212百万円、自己株式の取得による支出399百万円等の資金減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2024年4月1日から2025年3月31日)の連結業績予想につきましては、2024年5月10日発表の数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,578	9,190
受取手形、売掛金及び契約資産	7,112	5,338
電子記録債権	2,774	2,304
商品及び製品	1,513	1,517
仕掛品	164	176
原材料及び貯蔵品	768	821
その他	123	81
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,033	19,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,435	2,423
機械装置及び運搬具(純額)	441	419
土地	2,732	2,732
その他(純額)	313	835
有形固定資産合計	5,922	6,411
無形固定資産		
ソフトウェア	127	114
その他	25	25
無形固定資産合計	153	139
投資その他の資産		
投資有価証券	974	902
繰延税金資産	17	21
退職給付に係る資産	783	799
賃貸不動産(純額)	829	817
その他	218	153
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	2,813	2,684
固定資産合計	8,889	9,234
資産合計	30,922	28,663

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,491	2,085
電子記録債務	4,557	3,377
短期借入金	665	665
未払法人税等	737	360
賞与引当金	483	343
役員賞与引当金	41	20
その他	942	1,024
流動負債合計	9,919	7,877
固定負債		
繰延税金負債	257	228
退職給付に係る負債	46	47
その他	511	528
固定負債合計	815	805
負債合計	10,734	8,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	17,091	17,347
自己株式	△526	△925
株主資本合計	19,494	19,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	502	452
退職給付に係る調整累計額	191	177
その他の包括利益累計額合計	694	629
純資産合計	20,188	19,980
負債純資産合計	30,922	28,663

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,824	13,350
売上原価	9,899	9,464
売上総利益	3,924	3,885
販売費及び一般管理費	3,014	3,186
営業利益	910	699
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	16
受取賃貸料	92	92
売電収入	24	22
その他	20	22
営業外収益合計	151	154
営業外費用		
支払利息	0	1
不動産賃貸費用	27	28
売電費用	7	6
保険解約損	-	9
その他	0	0
営業外費用合計	36	47
経常利益	1,025	806
特別利益		
固定資産売却益	190	-
特別利益合計	190	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	4	-
特別損失合計	5	0
税金等調整前中間純利益	1,210	806
法人税等	417	339
中間純利益	793	467
親会社株主に帰属する中間純利益	793	467

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	793	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	△49
退職給付に係る調整額	△9	△14
その他の包括利益合計	93	△64
中間包括利益	887	403
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	887	403
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,210	806
減価償却費	195	214
投資有価証券評価損	4	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△63	△36
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	△140
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△17
支払利息	0	1
固定資産売却益	△190	-
固定資産除却損	0	0
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	879	2,243
棚卸資産の増減額(△は増加)	19	△69
仕入債務の増減額(△は減少)	△937	△1,585
未払消費税等の増減額(△は減少)	23	△155
その他	△5	△34
小計	1,106	1,207
利息及び配当金の受取額	13	17
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△472	△714
その他	0	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	647	508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
有形固定資産の取得による支出	△176	△309
有形固定資産の売却による収入	229	-
無形固定資産の取得による支出	△3	△8
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	7	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	56	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	925	925
短期借入金の返済による支出	△925	△925
配当金の支払額	△167	△212
自己株式の取得による支出	-	△399
その他	△14	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182	△628
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	521	△387
現金及び現金同等物の期首残高	7,430	9,528
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,952	9,140

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,514	3,066	13,580	243	13,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	568	130	699	91	790
計	11,082	3,197	14,279	335	14,615
セグメント利益	658	195	853	4	857

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びビズワン商事株式会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	853
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	52
中間連結損益計算書の営業利益	910

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,373	2,631	13,005	344	13,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	489	189	678	75	753
計	10,862	2,821	13,684	419	14,104
セグメント利益	523	99	623	12	635

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	623
「その他」の区分の利益	12
セグメント間取引消去	63
中間連結損益計算書の営業利益	699